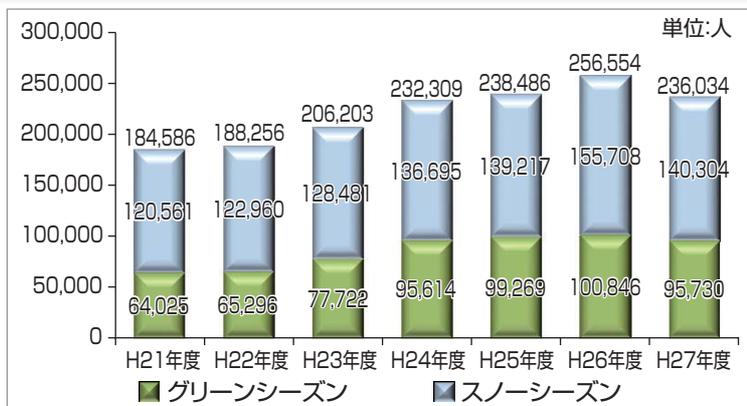


富士見パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

産業課 商工観光係 ☎62-9228

(1) 来場者の状況 グリーン・スノーシーズンとも各種要因により低迷 前年比△8%



スノーシーズン
前年比 90%
スキー・スノーボーダーだけでなく、入笠山は雪山でのスノーシュー体験の人気が高くなっている。



グリーンシーズン
前年比 95%
山野草公園では、春から夏、様々な山野草の移り咲きを楽しみ、秋は早朝の雲海やナイトゴンドラでの星空観察が楽しめる。

グリーンシーズンは、山野草公園等の山野草の一体的な管理により良好な開花状況が保たれ、マウンテンバイク (MTB) コースの充実や雲海ゴンドラ運行を含めた観光PRにより、入笠山の知名度が上がり一般来場者は増加しましたが、観光バスの法改正の影響や指定管理施設の休所に伴う教育団体の減少が影響して、来場者は前年比95%に留まりました。但し、一般来場者の消費が伸びたことにより売上は前年比101%となりました。

スキーシーズンは、全国的に期間中の天候が暖冬雪不足といったイメージが拭えずスキー場への足が遠のき、ムードが高まらなかったことや、格安スキーバスの事故発生によりツアーバスの利用に影響を与えたこともあり、パノラマスキー場は前年比90.1%となりました。

(2) 決算の状況 売上は前年比△9%だが、引き続き健全に利益計上

[単位:千円]

科目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
営業収支	営業収支	671,351	675,328	722,464	787,318	808,028	877,652
	営業費用	570,271	685,406	630,131	638,424	649,911	744,255
	営業利益	101,080	△10,078	92,333	148,894	158,117	133,397

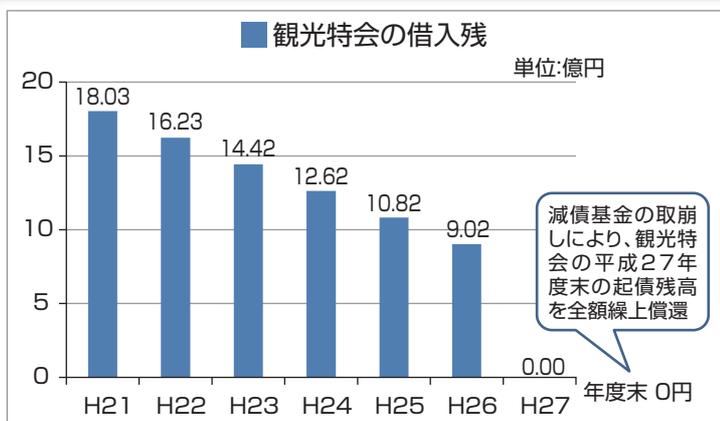
MTBのコースの充実により初心者を取り込みと愛好者の底辺拡大を図る。



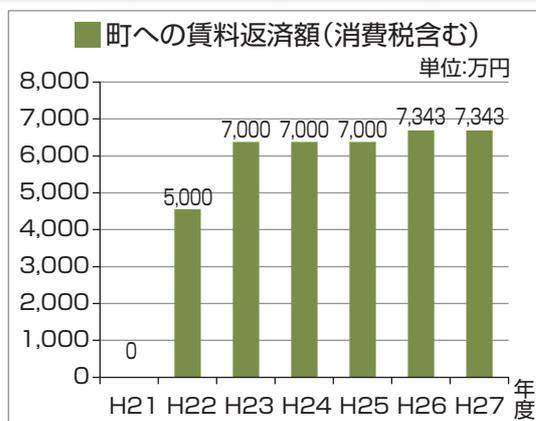
パノラマリゾートは、町の支援を受けながら健全な経営を維持し、天候や事故等でマイナス要因もありましたが、連続して営業利益を計上しました。(なお、営業外収支は除いています。)

平成27年度は、MTBコースと早朝のゴンドラ運行による日の出と雲海を楽しむ企画の充実を図りました。

(3) 町観光施設貸付事業特別会計 起債返済の推移



(4) 実質的な一般会計への貢献度



観光特会返済分

観光特会が開発公社から資産買取りを実施した際の起債は、平成27年度当初残高9.02億円でしたが、減債基金の取崩しによる一般会計からの繰入金により全額繰上償還したため起債は完済となりました。平成28年度からは、町から観光特会への繰り入れはなくなり、その分、町の事業の財源として活用します。